

2022年2月22日

中野区長 酒井直人 様

平和の森小学校敷地内における旧豊多摩監獄表門の位置表示に関する要望書

公益社団法人 日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部 中野地域会
代表 白江 龍三

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、先般の専門紙の報道によりますと、2019年1月に策定済の平和の森小学校新設の基本計画については、旧豊多摩監獄表門の曳家移築に伴い、来月（3月）22日を目途に再策定の作業中とのことです。私どもにも、曳家保存の決定により基本計画の再策定は当然であると了解されます。

つきましては、昨年11月に弊会より提出させて頂いた「旧豊多摩監獄表門の曳家移築とその後の活用に関する要望書」の中の第5項目、「**移築前に表門があった位置を示す恒久的指標等を何らかの形で設ける**」ことを、再策定される平和の森小学校の基本計画の中に組み込んで頂きたく、ここに再度、要望するものです。

（次頁に、上記の提出済み要望書も再録させて頂きます。）

歴史的に価値のある建築物の保存活用にあたっては、現地保存が基本であることは論を待ちませんが、やむを得ず移築保存する例も出てきます。後者の場合は、その歴史的建造物の本来の所在位置を恒久的に特定できるような工夫が、失われる現地性への代替措置として必要です。

平和の森小学校の場合、建物が建設された後も刑務所表門の本来の位置を分かりやすく指標（目印）で示し、簡単な説明を掲示することが、生きた歴史の継承となり、また文化への敬意の表明となります。それは、学校本来の目的である教育に資するところ大であって、基本計画に必ず盛り込まれるべきものと考えます。

以上、重ねて要望をお届けする次第です。

敬具

中野区長 酒井直人 様

旧豊多摩監獄表門の曳家移築とその後の活用に関する要望書

公益社団法人 日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部 中野地域会
代表 白江 龍三

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、旧豊多摩監獄表門（旧中野刑務所正門）が 2021年6月4日に中野区指定文化財となり、保存が決まりましたことを喜ばしく存じます。

この表門は現在のところ建設当初の位置にそのまま存続しておりますが、その位置が新たに建てられる小学校の敷地内となったため、当表門は諸般の事情から敷地の西側を南北に通る計画道路を挟んだ土地に曳家移築されることになり、耐震診断・劣化調査（2021年4月～9月）を経て、曳家工事が現実となった、と聞いております。

歴史的な建築物は、建てられた位置に保存することが重要ですが、移築を余儀なくされる場合もあります。移築に関しては建物に損傷の無いように十分留意して頂けると思っております。

この表門は、設計者、意匠、構法、建設、歴史的意義など数々の重要な文化財的価値を有しております。つきましては、移築し保存される建物を周知し かつ十分活用するために、以下のように要望いたします。

記

1. 曳家移築の工事を公開して頂きたい。
2. 区民はもとより関心を持つ人が保存した表門を身近に見られるようにして頂きたい。
3. 曳き家した敷地内に資料館をつくり、次の事項 a～c について掲示してほしい。
なお、当表門は建築として貴重であるばかりでなく、旧豊多摩監獄(旧中野刑務所)の象徴でもあることに、十分留意して頂きたい。
 - a. 当表門が曳家されて現地点にある理由
 - b. 刑務所の歴史
 - ・江戸以前、近代化以後の日本の監獄・刑務所の歴史
 - ・当該監獄(刑務所)の歴史
 - 建設の記録、関東大震災や戦時体制との関わり、収監された人々について等
 - c. 当表門の図面ならびに監獄(刑務所)全体の図面
4. 資料館を造れない場合は、当表門建築内のスペースを利用しても良い。さらにそれが難しい場合には、敷地内に耐候性のあるパネルを設置し掲示して頂きたい。
5. 移築前に表門があった位置を示す恒久的指標等を何らかの形で設けて頂きたい。
6. 上記 1 から 5 に関する検討組織ないし検討の場をつくって頂きたい。また、これに私ども JIA から人員を参加させて頂きたい。

以上、公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 中野地域会としても、できる限りの協力をさせて頂くことを申し添えます。

敬具